

令和7年度 山郷こども園 自己評価

No.	評価項目	評価
1	保育理念・方針・目標を全職員が理解・共有し、園運営や日々の保育に活かしているか。	できている
2	職員の役割分担や責任範囲が明確で、共通理解が図られているか。	できている
3	保育内容や課題について職員間で定期的に話し合い・情報共有をしているか。	できている
4	実習生や新人職員への研修・育成体制が整備され、積極的に実施されているか。	できている
5	職員の労働環境や健康に配慮し、必要に応じて改善しているか。	努力が必要
6	職員間は風通しの良い、相談しやすい雰囲気、年齢や経験にかかわらず、意見が言える職場であるか。	努力が必要
7	保育課程・指導計画は子どもの発達・興味・地域性等を考慮して作成されているか。	できている
8	計画や記録、行事等について定期的に評価・見直しを行い、改善に生かしているか。	できている
9	気になる子や障害児への配慮・支援が計画的かつ全職員の共通理解のもと実施されているか。	できている
10	幅広い多様性（文化的背景、性別、外国籍など）の配慮について、職員全体で意識の向上を図っているか。	できている
11	子どもの健康・安全（視診、感染症対策、アレルギー、SIDS、事故防止等）に十分配慮しているか。	できている
12	年齢や発達段階ごとの配慮（乳児、1～2歳、3歳以上等）を実践し、記録や話し合いで共有しているか。	できている
13	子どもの自主性や主体的な遊び、生活習慣の育成、情緒の安定、表現力、対人関係など多様な発達領域に配慮しているか。	できている
14	保育室や園庭、玩具・遊具・教材など、子どもの発達と安全に配慮した環境づくりがなされているか。	できている
15	保護者との連絡や面談、保育内容や子どもの様子についての情報共有・相談対応が適切に行われているか。	できている
16	開かれたこども園とし、保護者のニーズに合わせた十分な情報提供（翻訳対応、デジタルツールの活用等）に取り組んでいるか。	できている
17	地域との連携（行事、情報提供、交流等）や地域資源の活用に取り組んでいるか。	できている
18	各種マニュアルや規程（緊急時、個人情報保護、苦情対応等）の整備・見直しを行い、職員の共通理解を図っているか。	できている
19	保育記録・健康記録等、書類の整備・保存・個人情報管理が適切に行われているか。	できている
20	職員の資質向上のため、定期的な研修や研究活動・事例共有を実施し、保育実践に反映しているか。	できている
21	上記の項目全体について、定期的に自己評価を行い、その結果をもとに具体的な改善策を計画・実施しているか。	努力が必要

評価は3段階で記入。

1できている 2努力が必要 3できていない

【気づきとふりかえり】（自己評価の結果から見えた強み・課題、今後の改善計画や取組方針などを記入）

保護者からの苦情や指摘は、ほぼ無しに等しい。職員は、保護者サイドからの考えにも、同調し、低姿勢で謙虚な対応を行うよう、心がけており、どの職員にもその姿がある。園運営において、園児数の増加と利用時間の長さのために、さまざまな時間帯での職員配置を行うことにより、職員の共通理解には、不十分な点がある。職員への周知や保育の進捗など、明確に示しながら、どの職員からも保育への提案や指摘など風通しのよい現場になることが課題である。保育全体の計画を具体的に年度初めに立案していく取り組みを進める。職員への共通理解するための方法を検討していきたい。